

経尿道的膀胱腫瘍摘出術

入院診療計画書

目標		手術、麻酔についてわからない所を質問し、不安なく手術を受けることができる	安心して手術を受けることができる	吐気、嘔吐、頭痛などの症状がなく経過できる ・痛みがコントロールされ、ゆっくり睡眠できる	手術後の苦痛がコントロールされ軽くなる ・食事が摂取できる	カテーテル挿入による膀胱刺激症状（違和感、痛み、尿意）がある時は訴えて、軽減できる ・入院生活が自立できる	排尿時痛、頻尿などの症状をコントロールできる	退院後の注意点が理解でき退院できる	
		1日前	当日(術前)	当日(術後)	1日後	2日後	3日後~5日後	6日後~7日後	8日後~9日後
注射			9時頃より点滴を始めます ・() 麻酔の注射を行います。	明日の夕方ごろまで点滴は続きます	点滴があります。夕方終了したら、針を抜きます				
投薬					普段より飲んでいる薬がある人は、朝より内服を始めて下さい	朝食後3日間、抗生剤の内服をしていただきます。			必要に応じて退院処方があります
検査								採血があります	
手術			手術中 手術の日です						
処置					2日間必要に応じて膀胱内に薬を注入します				
文書		入院診療計画書をお渡しします。 ・医師の説明後、同意書をお渡しします。記入後看護師に提出していただきます。							
指導	服薬指導	薬剤師から服薬指導があります							
安静度		制限はありません	麻酔の注射後は、ベッドの上で、横になったままお待ちください ・()時()分頃、搬送車によって手術室に向かいます	翌日までベッド上安静になります	朝より歩行ができます。 最初の歩行は、看護師が付き添いますのでお知らせください 痛みがあるときは痛み止めを使うことができます	制限はありません	制限はありません	制限はありません	制限はありません
食事		食事があります	深夜0時より、食べたり、飲んだりしないでください。	お食事はできません 帰室後うがいはできます。水分は医師の許可があれば横になったままとってもいいです	朝より食事が出ます	食事があります	食事があります	食事があります	食事があります
病棟処置	清潔	入浴してください	朝6時頃~歯磨きや洗面をしてください	手術後ガウンを着ます	タオルで身体を拭きます パジャマに着替えます	熱がなければシャワーができます。	熱がなければシャワーができます。 尿の管が抜けたら、入浴できます	入浴できます	入浴できます
	排泄	退院まで指定の袋に尿をためていただきます	() 麻酔の注射前に、トイレを済ませてお待ちください				尿の管が抜けたら、再び尿をためておいてください		
説明		医師と看護師より手術についての説明があります ・今まで飲んでた薬を確認させてください ・ T字帯を1枚準備ください ・手術後吸いのみが必要です。売店で購入できますので準備してください ・家族の方は明日()まで病棟に起こして下さい ・不安な事、わからない事があればお話し下さい	医師や看護師よりお薬を飲むように説明を受けた方は、朝7時に少量の水で内服してください ・手術へ行く前にメガネ・時計、入れ歯は外し、保管しておいてください。(入れ歯は外す決まりになっていますが、会話する時など不都合な時は、装着したままで手術室へ行ってかまいません。) <ご家族の方へ> ・手術室は4階にあります。家族の方は家族控え室でお待ち下さい	医師から家族の方に手術内容の説明があります。 ・ 頭を持ち上げると頭痛の原因になりますので、起き上がったりしないでください。寝返りを打つのはかまいません。 1人りで動けない方には看護師がお手伝いします ・まれに吐気、嘔吐、頭痛などの症状が出る時があります。その時は看護婦にお知らせ下さい。 ・ 痛みがあるときは痛み止めを使うことができますので、お知らせください	尿の管がはいってきます。3~5日間入れておきますので、違和感、痛みがあるときにはお知らせ下さい。痛み止めを使うことができます。 ・血尿が出ることがありますが、徐々にうすくなりますので様子を見て下さい。水分をとってください。 ・歩行時は、蓄尿袋を入れる布袋をお貸しします。袋は腰より低くさげましょう			次回受診日などの説明があります ・血尿、膀胱刺激症状（頻尿、排尿時痛）が出現したら、予約日を待たずに早めに受診してください 退院は10時までお願いいたします	
前後処置		身長、体重を測ります ・ 必要時手術部位の毛の処理をします	朝6時30分 浣腸をします 排便があつたらお知らせ下さい	時間をおいて体温、血圧、脈拍を見ていきます	1日2回体温、血圧 脈拍を見ていきます	1日1回体温血圧、脈拍を見ていきます			

〔主治医

〕 〔看護師

〕